

巡礼文化で国を超えた交流を！

スペインの北西部の町・モリナセカ町から、アルフォンソ・アリアス・バルボア町長ほか関係者2名と、同町と本町の交流の橋渡しをされているNPO法人「遍路とおもてなしのネットワーク（高松市）」の関係者2名が来町されました。

今回の訪問は、モリナセカ町が世界遺産「サンティアゴ・デ・コンポステーラの巡礼路」の道中にあることから、同じ巡礼路が通る世界の町と交流を持ちたいというバルボア町長の希望に、愛南町が応えて実現したものです。

当日は、バルボア町長と清水町長が互いの町の自然・産業・文化について意見交換を行い、バルボア町長から「四国八十八箇所霊場と遍路道」の世界遺産登録について、関係者に働きかけを行うなど協力をしたいと述べていただきました。その後一行は、交流記念石柱の除幕式、町内の視察などをして交流を深めました。今回の事業には、職場体験の一環として御荘中学校2年の松平幹太さんと宮下姫香さんが同行し、取材してくれました。



記念石柱を囲んで（ホテルサンパール前）



御荘中学校2年の松平幹太です。職場体験学習で「愛南町とスペイン・モリナセカ町との交流事業」に同行させていただきました。交流事業は、モリナセカ町にも愛南町にもある巡礼路がきっかけで行われました。モリナセカ町長らは、観自在寺を参拝した後、サンパールにて記念石柱の除幕式を行いました。また、アクセサリー作りや紫電改を観覧するなど、愛南町・日本の魅力を満喫していらっしやいました。これからさらに、モリナセカ町との交流が深まっていくことを、愛南町民の一人として心から願っています。



真珠アクセサリー作り体験（若木真珠）



観自在寺にて



紫電改展示館にて



御荘中学校2年の宮下姫香です。今回の職場体験学習で一番心に残ったのは、スペイン・モリナセカ町のバルボア町長に、通訳さんを通じてインタビューをしたことです。巡礼路が通るモリナセカ町は、石などで作られた家々を皆で守り、ゴミを捨てないよう徹底していることを知りました。実際に写真を見せてもらいましたが、本当にきれいな町です。バルボア町長は、自分の住んでいる町を誇りに思っているそうです。私はすぐくうらやましくなりました。私も愛南町が誇りの持てる良い町になるよう何かできればいいなと思います。